



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

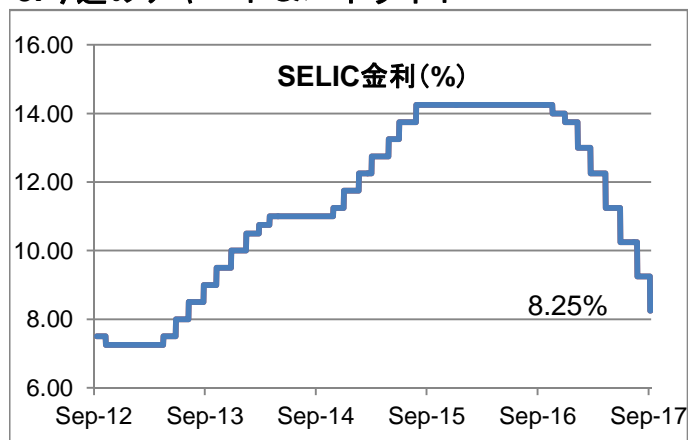
			9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1390	3.1170	3.1000	休場	3.0870	-0.0130
	BRL/JPY	Spot	34.94	34.89	35.24	休場	34.94	-0.30
	EUR/USD	Spot	1.1896	1.1916	1.1918	1.2023	1.2036	+0.0013
	USD/JPY	Spot	109.73	108.78	109.24	108.46	107.84	-0.62
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.58	7.56	7.45	休場	7.44	-0.0082
	Future	1Year(p.a.)	7.64	7.62	7.48	休場	7.45	-0.0298
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.544	2.581	2.520	休場	2.471	-0.049
	USD	1Year(p.a.)	2.676	2.636	2.589	休場	2.532	-0.057
株式	Bovespa指数		72,128.81	72,150.88	73,412.44	休場	73,078.88	-333.56
CDS	CDS Brazil 5y		191.25	188.77	185.98	182.50	181.48	-1.02
商品	CRB指数		180.946	182.342	183.000	182.870	181.175	-1.695

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは国内の好材料を背景に堅調推移。4月上旬以来となる3.08台前半へ上昇。
- 週初のレアルは3.1410で寄り付いた。北朝鮮動向によるリスクオフの影響は限定的で、週初は米国市場が休場だったこともあり動意に乏しい展開となった。その後、テメル伯大統領の汚職捜査を巡り、食肉大手企業の行った司法取引が取り消される可能性があるとの報道からレアルは3.11台へ上昇。伯上院が長期貸出金利の新指標(TLP)採用に関する法案を可決したことや、伯政府の財政赤字目標の修正が議会で承認されたことも好感された。国内が祝日による休場だった7日には米金利低下によりドルが下落。レアルは週末にかけて高値3.0838まで上昇し、結局3.0870で越週した。なお、6日引け後に発表されたCOPOMでは1.00%の追加利下げが行われたが市場の影響は限定的だった。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.39%から0.50%へ上方修正、2018年は2.00%で据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.45%から3.38%へ、2018年は4.20%から4.18%へそれぞれ下方修正された。
- 5日、食肉大手企業の幹部がテメル伯大統領の汚職に関して行った司法取引について、当時の検察省検事が大統領の汚職を証明するため、同幹部の司法取引を支援していたことを示唆する会話内容が公開された。司法取引が無効となる可能性が指摘される中、市場ではテメル伯大統領の議会支持回復やそれに伴う改革進展に好材料と取られた。
- 5日、BNDES(国家経済社会開発銀行)の制度融資に利用される新たな長期金利指標としてTLPの導入が上院で可決された。来年1月から導入される予定であり、BNDESの負担軽減を通じて伯政府の財政に好材料と見られている。
- 6日に発表された8月の伯インフレ率(IPCA)は前年比+2.46%へ低下し、引き続き伯中銀・財務相が設定する目標レンジ(3.0% - 6.0%)を下回った。内訳では食料価格の下落が継続していることが確認された。
- 今週は国内の政治面で期待感につながる材料が続き、ボベスパ指数は一時73,646と2008年5月以来の高値まで上昇した。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



出所：Bloomberg

## 伯中銀が10月COPOMでの利下げ幅縮小を示唆

5-6日に開催されたCOPOMでは予想通り1.00%の利下げを決定し、政策金利を9.25%から8.25%へ引き下げた。低水準で推移するインフレ率を背景に4会合連続で1%の利下げを実施。昨年10月から開始した利下げ幅の合計は6%となった。声明文では次回会合(10月24-25日開催)から利下げ幅を緩やかに縮小していくことを示唆。金利先物市場が織り込む次回の利下げ幅は約0.72%(8日時点)となっており、現行の利下げサイクルで政策金利は7.00-7.25%の水準まで低下することを織り込んでいる。



## 4.来週の為替市場注目点

## 予想ドル・レアル相場レンジ : 3.05—3.15

来週のレアルは国内政治面での好材料を背景に底堅い動きが続くものと予想する。12日朝には今週開催されたCOPOMの議事録が公表予定。利下げ幅を縮小していくことが示唆される中、今後の金融政策を見る上で議論の内容に注目したい。また、伯中銀によるドル売りスワップポジションについては約100億ドルが9月末に期日を迎えるが、ポジションのロールオーバーを巡る中銀の動きが注目される。ロールオーバーしない場合は期日到来に伴うドル買いが月末に発生するため、レアルの上値を重くする要因となる。

## 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
米	卸売在庫(前月比)	0.4%	0.6%	0.4%
米	卸売売上高(前月比)	0.5%	-0.1%	0.7%
米	消費者信用残高	\$15.000b	--	\$12.397b

## 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	9/11	IGP-M Inflation 1st Preview	Sep	0.22%	-0.03%
ブラジル	9/11	FGV CPI IPC-S	Sep 7	0.15%	0.13%
ブラジル	9/12	小売売上高(前月比)	Jul	0.3%	1.2%
ブラジル	9/12	広義小売売上高(前月比)	Jul	-1.6%	2.5%
ブラジル	9/13	FIPE CPI-週次	Sep 7	0.10%	0.22%
ブラジル	9/13	IBGEサービス部門売上高 前年比	Jul	-2.4%	-3.0%
米	9/13	PPI 最終需要(前月比)	Aug	0.3%	-0.1%
ブラジル	9/14	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Sep	0.32%	-0.17%
ブラジル	9/14	経済活動(前月比)	Jul	0.1%	0.5%
米	9/14	消費者物価指数(前年比)	Aug	1.8%	1.7%
米	9/15	小売売上高速報(前月比)	Aug	0.1%	0.6%
米	9/15	鉱工業生産(前月比)	Aug	0.1%	0.2%
米	9/15	設備稼働率	Aug	76.8%	76.7%
米	9/15	ミシガン大学消費者マインド	Sep P	95.6	96.8
米	9/15	企業在庫	Jul	0.2%	0.5%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。